

問題把握力強化講座

9月に基礎を固める（関係構築力と問題把握力強化）

目的 1 級ならではの「関係構築力」と「問題把握力」を強化				受講料(税込)	
日時	時間	会場	受講対象者	会員	一般
2025年 9 月 21 日(日)	9:15～16:15	すみだ産業会館 JR 錦糸町	これから受検準備をしようとしている人・再確認したい人	20,000 円	25,000 円
講座の内容	システマティックアプローチのプロセスで、合格の必須要件ともいえる「関係構築」と「問題把握」の意味を理解し実践します。 関係構築は問題把握をするための手段と考え、午前中の講義で、事例相談者視点の問題把握と本人が気づいていない事例指導者視点の問題を見立て、それに気づいてもらうための方法を理解し、午後はロープレのアウトプットで実践します。				
(詳細) 本講座では、評価区分のうち、1 級ならではの「関係構築力」と「問題把握力」を強化することを目的とします。 問題把握に至るために、面談前半での「関係構築」を最大限に活用し、事例指導者視点での問題に気付いてもらい、事例相談者の自己開示を促します。 この講座の午前中の講義では、「1 級技能士に必要なスキル」を厚生労働省がどのように捉え、試験でどのように評価しようとしているかを理解します。 午後は、その理解を基礎に、実技試験(論述・面接)に合格するために行うべき「関係構築」と「問題把握」の内容を実践できるようにします。 面接試験の試験実施概要や評価区分に記載された内容を正しく理解し、それを実践できるようにすることが、試験合格の王道であり、近道です。 この講座は、第 15 回検定での合格に向けて勉強を始める受検者向けに構成しており、この講座で習得できるポイントは以下の 2 点です。 ① 厚生労働省の意図する「1 級指導者」の意味を正しく理解する ② 関係構築力を最大限に活用し、とくに事例指導者視点での問題把握力を強化する 面談のロールプレイでは、どのようにして事例相談者から信頼を得て自己開示を促すことから始めます。 事例の内容説明での事例相談者の発話から、事例指導者が事例相談者視点と事例指導者視点の問題を把握するポイントを理解します。					

